

MITSUBISHI

三菱パイプ用ファン (電気式シャッター付)

形名 [居室・トイレ・洗面所用]
 V-08PE5 (-BE)
 V-08PED5 (-BE)
 V-08PELD5 (スイッチ付)
 V-12PED5

据付説明書

工事店さま用

とびだす 形名によって取扱いが異なりますので、予め使用の形名をご確認ください。この製品の選定にはスイッチが必要です。スイッチの位置を確認してください。(V-08PELD5を除く)

形名表示位置
 形名表示位置
 V-08PELD5のみ

据付け終了後は、必ずこの説明書をお客さまにお渡しください。

据付けを始める前に、誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を梱包外側の「警告」「注意」で説明しておりますので、この説明書とともによくお読みになり、正しく安全に据付けてください。

- 電気工事は電気工事の方が実施してください。
- この製品は居室・トイレ・洗面所に据付けてください。それ以外の用途には使用しないでください。故障の原因になります。
- 直接屋外に排気する場合は、雨水浸入防止のためシステム部材 (ウェザーカバーなど) を据付けてください。
- 外風の吹き付けの強い場所では風圧シャッター付深形フードを据付けることをおすすめします。壁面汚れ、雨水浸入、電気式シャッターのばたつきの原因になります。
- この製品の運転・停止にはシステム部材または市販のスイッチが必要です。(V-08PELD5を除く)
- V-12PED5は塩化ビニル管 (厚肉管 VP) には据付けできません。

形名	電源仕様	適用パイプ	付属部品
V-08PE5 (-BE)	プラグコード	●塩化ビニル管 …VU・VP (呼び径100mm)	木ネジ…2本
V-08PED5 (-BE)	連結端子	●銅板管 (内径100mm)	
V-08PELD5 (スイッチ付)		●塩化ビニル管…VU (呼び径150mm)	
V-12PED5	連結端子	●銅板管 (内径150mm)	

お願い

- 高温 (40℃以上) になるところに据付けしないでください。(故障の原因になります)
- 効果的な換気を行うために給気口を設けてください。
- 電源が入った状態でシャッターを無理に押ししたり、引っ張らないでください。(シャッター機構破損の原因になります)
- 塩害、温泉等の発生している場所には据付けしないでください。(振動の原因になります)
- アルミフレキシブルダクトへの据付けはしないでください。
- システム部材 (ウェザーカバーなど) は壁厚にあったものを選んでください。(壁厚より据付けられないものがあります)
- 天井・壁板は、振動・共鳴音防止のため強度のあるものとしてください。

安全のために必ず守ること ⇒ 梱包箱を確認ください

外形寸法図 ⇒ 梱包箱を確認ください

据付方法

1. 据付前の準備

注意

- 湿気の多い場所 (浴室、シャワー付洗面台・衣類乾燥機のある洗面所など)、結露する場所には据付けない (感電・故障の原因になります)

壁据付けの場合

壁穴へのパイプの固定

1. 据付け場所を決めて穴をあける。

- 壁厚に応じてパイプの長さを決めてください。
- 必ず床面より1800mm以上のメンテナンス可能な位置に据付けてください。

タイプ	A	B
08	80	120
12	180	240

2. 壁穴にパイプを確実に固定する。

パイプと壁のすき間はコーキング処理を施します。

- 電源線を室内に引き込んでから (2.電気工事 参照) 行ってください。(連結端子タイプのみ)
- 固定が不十分ですと振動したり異常音が発生する原因になります。
- 壁内への雨水浸入を防止するためパイプは室内壁面まで差し込んでください。

お願い

- パイプは雨水の浸入を防ぐため屋外側に下りこう配をつけ、固定してください。

天井据付けの場合

野縁組立とダクト工事

1. 右図のように野縁組立をし、ダクト工事をする。

お願い

- 補助パイプが壁から右図の位置になるようダクト工事を行ってください。

2. ダクトの中心から天井板まで185mm以上離して天井板をはる。

3. エルボと天井板の間は補助パイプを接続する。パイプと天井のすき間はコーキング処理を施します。

お願い

- ダクトは雨水の浸入を防ぐため屋外側に1/100以上の下りこう配をつけてください。
- 天井板に強度がないときは補強材を入れてください。

2. 電気工事

警告

- 交流100Vを使用する (直流や交流200Vを使用すると感電の原因になります)

注意

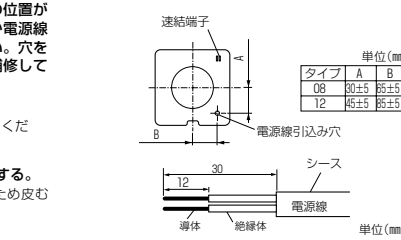
- 電気工事は電気設備に関する技術基準を定める省令 (および同解説) および内線規程に従って安全・確実に行う (接続不良や誤った電気工事は、感電・火災の原因になります)
- 電気工事は電気工事店に依頼する (感電や火災の原因になります)

●市販のスイッチを使用される場合は適切なスイッチを合わせて結線してください。

連結端子タイプの場合

※既設換気扇と交換の際、電源線引込み穴の位置があわない場合は、製品裏側の空間を通すか電源線を引き出せる位置まで穴を広げてください。穴を広げた場合は、必ず不要となった部分を補修してふさいでください。

1. 電源線を右図の位置から室内に引き込む。
 - 電源線はVFφ1.6またはφ2.0 2芯をご使用ください。
2. 電源線の先端を右図寸法に合わせて皮むきする。
 - 端子部への水の浸入・ほこりの侵入を防ぐため皮むき寸法を必ず守ってください。



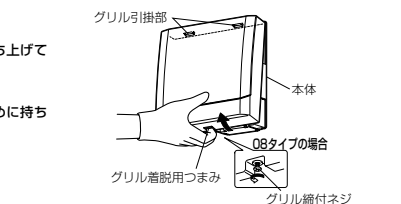
電源プラグタイプの場合

内線規程に基づくコンセントを室内の換気扇の近くに設置する。

3. 本体の据付け (壁据付け・天井据付けともに同様の据付けかたです)

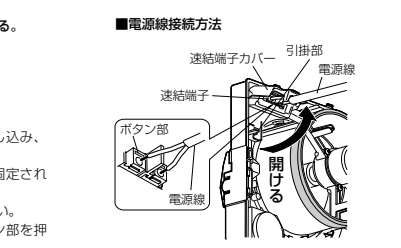
1. 本体からグリルをはずす。

- 08タイプの場合
グリル締付ネジをゆるめてグリルを斜めに持ち上げてはずす。
- 12タイプの場合
グリル着脱つまみに指をかけ、グリルを斜めに持ち上げて本体上側のグリル引掛部からはずす。



2. 結線をする。 **連結端子タイプの場合**

- ① 本体の引掛部に手を掛け、右図のように開ける。
- ② 電源線を連結端子に差し込む。
- ③ 確実に連結端子カバーを元通り閉じる。



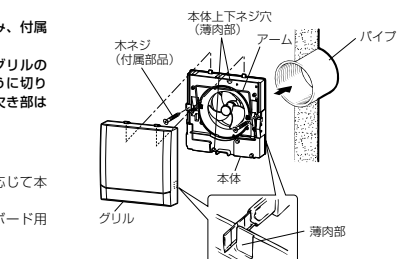
お願い

- 電源線の皮むき部分は確実に連結端子に差し込み、端子より出ないようにしてください。
- 電源線を軽く引っ張って連結端子に確実に固定されていることを確認してください。
- 電源線は本体面に密着させて配線してください。
- 電源線を連結端子よりはずす場合は、ボタン部を押しながら電源線を引き抜いてください。

3. 本体を固定する。

本体の上下を確認して本体をパイプに差し込み、付属の木ネジ2本で本体を固定する。

- 電源プラグを左右から出す場合は、本体とグリルの薄肉部を切り欠き、電線をかみ込まないように切り欠き部から引き出します。本体上部の切り欠き部は市販のテープなどでふさいでください。(V-08PE5(-BE)のみ)



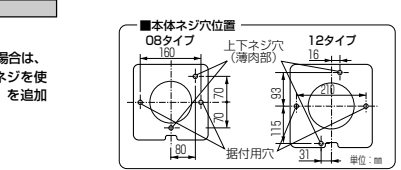
お願い

- 左右の据付用穴をご使用ください。必要に応じて本体上下ネジ穴 (薄肉部) をご使用ください。
- 石膏ボードに据付ける場合は、市販の石膏ボード用アンカーを必ず使用してください。

天井据付けの場合

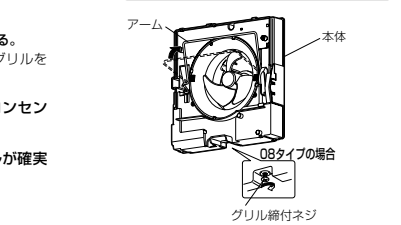
お願い

- V-12PED5を2.8m以上の高い天井に据付ける場合は、付属の木ネジ2本で本体を固定後、市販の木ネジを使用して本体上下ネジ穴 (薄肉部、上下2か所) を追加固定してください。



4. グリルを本体に取付ける。

- ① アームを右図のように押し上げる。
- 必ず電源を切った状態で行うこと。
- ② グリルの方向を間違えないよう本体に取付ける。(1.本体からグリルをはずすの逆の手順でグリルを取付けてください)



5. 電源プラグタイプは電源プラグを専用のコンセント (単相100V) に差し込む。

6. 以上の据付けが終了した後、本体とグリルが確実に据付けられているか確認する。

試運転

据付けが終わりましたら下記の要領にて試運転を行い、正常に動作するか、異常な音・振動などがなければ確認してください。

1. スイッチを「入」にするとシャッターが開き換気扇が運転 (羽根が回転し排気) するかを確認する。
2. スイッチを「切」にするとシャッターが閉じ換気扇が停止するかを確認する。